

■殺虫剤：家庭園芸用

ネオニコチノイド系

スターガード®粒剤

登録番号：22738

毒性：－

消防法：－

有効年限：5年

成分 ジノテフラン……1.0%

物理的・化学的性状 類白色細粒

包装：800 g × 18

◆特 長

- 有効成分が植物体内に速やかに浸透移行して、茎や葉に到達します。発見しづらく防除も難しい微小害虫や潜葉性害虫への対策に効果を発揮する殺虫剤です。
- 多くの野菜に登録があり、マイナー作物・地域特産物にも広範囲に対応していますので、使用者のニーズに幅広く対応できます。「花き類」「つつじ類」にも使えますので、ガーデニングにも重宝する殺虫剤です。
- 人畜・魚類・鳥類に毒性が低い化合物です。また、作物への薬害も生じにくく、扱いやすい殺虫剤です。
- アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類、コナガ・アオムシなど多くの害虫を、効率的に同時防除出来ます。
- 多くの登録作物で、「定植時」と「生育期」の処理時期が選べます。

◆適用と使用方法

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数	
きゅうり	ハモグリバエ類 アザミウマ類	2 g/株	定植時	1回	植穴土壤 混和	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壤混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)	
		1～2 g/株					
	アブラムシ類 コナジラミ類	1 g/株	生育期 但し、 収穫開始 14日前まで		株元散布		
メロン	ハモグリバエ類 アザミウマ類	2 g/株	定植時		1回	植穴土壤 混和	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壤混和は合計1回以内、散布は2回以内)
	アブラムシ類	1 g/株					
	コナジラミ類	1～2 g/株					
すいか	ワタアブラムシ	2 g/株	生育期 但し、 収穫21日前まで	1回		株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壤混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
			定植時				
かぼちゃ	アブラムシ類 コナジラミ類	2 g/株	定植時	1回		植穴土壤 混和	3回以内 (定植時の土壤混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数			
なす	ハモグリバエ類 アザミウマ類 コナジラミ類	1～2 g/株	定植時	1回	植穴土壌 混和	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、 散布及び定植後の株元散布は 合計2回以内)			
	アブラムシ類 アブラムシ類 コナジラミ類	1 g/株					生育期 但し、 収穫前日まで	2回以内	株元散布
	トマト ミニトマト	ハモグリバエ類 コナジラミ類	1～2 g/株	定植時	1回		植穴土壌 混和		
		アブラムシ類 アブラムシ類 コナジラミ類	1 g/株	生育期 但し、 収穫前日まで	2回以内		株元散布		
アザミウマ類 アブラムシ類		1～2 g/株 1 g/株	定植時 生育期 但し、 収穫前日まで	1回 2回以内	植穴土壌 混和 株元散布				
ピーマン	アザミウマ類 アブラムシ類	1～2 g/株 1 g/株	定植時 生育期 但し、 収穫前日まで	1回 2回以内	植穴土壌 混和 株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、 散布及び定植後の株元散布は 合計2回以内)			
	とうがらし類	アザミウマ類 アブラムシ類	1～2 g/株 1 g/株	定植時 生育期 但し、 収穫開始 14日前まで	1回	植穴土壌 混和 株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、 定植後の株元散布は1回以内、 散布は2回以内)		
キャベツ		アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ	2～3 g/株 3 g/株	定植時		1回	植穴土壌 混和	3回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、 散布は2回以内)	
	はくさい	アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ	2～3 g/株 3 g/株		3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、 散布は2回以内)				
ブロッコリー		アブラムシ類 コナガ	2 g/株		生育期 但し、 収穫3日前まで			2回以内	株元散布
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6 g/m ²							

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数										
にんじん	ハモグリバエ類	9 g/m ²	は種時	1回	播溝土壌 混和	4回以内 (は種時の土壌混和は1回 以内、生育期の株元灌注は 1回以内、散布は2回以内)										
だいこん	アブラムシ類	6 g/m ²				生育期 但し、 収穫30日前まで	全面土壌 混和	5回以内 (は種時の播溝土壌混和は 1回以内、は種時の全面土壌 混和は1回以内、粒剤の散布 は1回以内、水溶剤及び液剤 の散布は合計2回以内)								
	キスジノミハムシ	4~6 g/m ²	定植時		散布			3回以内 (は種時及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、散布 は2回以内)								
		9 g/m ²				は種時	播溝土壌 混和		3回以内 (は種時の土壌混和は1回 以内、散布は2回以内)							
チンゲンサイ	アブラムシ類 キスジノミハムシ	6 g/m ²	は種時		播溝土壌 混和			3回以内 (は種時及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、散布 は2回以内)								
非結球あぶらな科 葉菜類 (チンゲンサイを除く) かぶ										アブラムシ類	6 g/m ²	は種時	播溝土壌 混和	3回以内 (は種時の土壌混和は1回 以内、散布は2回以内)		
なばな類															アブラムシ類	6 g/m ²
ほうれんそう						アブラムシ類	6 g/m ²		は種時							
だいず	アブラムシ類	6 g/m ²	は種時		播溝土壌 混和			3回以内 (は種時の土壌混和は1回 以内、散布は2回以内)								
しゅんぎく										ハモグリバエ類	9 g/m ²	定植時	植溝土壌 混和	3回以内 (は種時及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、散布 は2回以内)		
いちご				ワタアブラムシ						0.5~1 g/株	定植時				植穴土壌 混和	1回
オクラ				アブラムシ類		9 g/m ²	生育期 但し、 収穫開始 14日前まで		株元散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)						
さやえんどう	ハモグリバエ類	アブラムシ類 コナジラミ類 (但し、1m ² 当り 30gまで)	定植時	植穴土壌 混和	5回以内 (土壌混和は1回以内)											
きく ガーベラ	マメハモグリバエ					2 g/株 (但し、1m ² 当り 30gまで)	生育期	5回以内	株元散布							
	アブラムシ類					20 g/m ²				定植時	1回	植穴土壌 混和				
花き類・ 観葉植物 (きく、ガーベラ を除く)	アブラムシ類 コナジラミ類	1 g/株 (但し、1m ² 当り 30gまで)	生育期	5回以内	株元散布	5回以内										
つつじ類	アブラムシ類	20 g/m ²	発生初期	5回以内	株元散布		5回以内									
	ツツジゲンバイ	6 g/m ²	発生初期													

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)間引き菜、つまみ菜に使用しないこと。
- (2)本剤の株元散布を行う際は、処理直後に灌水すること。
- (3)蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (4)ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - ③関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (5)作業中や散布当日は散布区域に小児やペットが立ち入らないように配慮すること。
- (6)容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理すること。
- (7)本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

◆安全使用上の注意

宅地、駐車場等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

◆魚毒性

水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。